

日本スポーツ協会公認マネジメント資格
専門科目カリキュラム・教育目標

SP●*ORT*

教育目標

<基礎 I> 地域スポーツクラブとは 集合3h, 通信4.5h 計7.5h

講義のねらい (講義の目的):	本講義では、全体のオリエンテーションにもあたり、通信での学習を踏まえ、地域スポーツクラブに関する事業のミッションとビジョンを確認し、その必要性を確認する。また、地域スポーツクラブの設立手法、運営形態にはさまざまなものがあり、国内外のケースを踏まえ、クラブづくりに関して、具体的にイメージができるようになることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブに関するミッションとビジョン、必要性を理解できるようになる。 ・ 地域スポーツクラブを取り巻くスポーツ環境(組織・団体)を理解できる。 ・ 地域スポーツクラブにはさまざまな設立形態、運営形態があることを理解できるようになる。 ・ 地域スポーツクラブを形成する様々な要素の必要性(資源、マネジメント等)を理解できるようになる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブづくりが求められる背景、マネジメント資格の概要について学ぶ。 ・ クラブ設立・経営の多様性について学ぶ。 ・ クラブの外部環境について学ぶ。 ・ クラブづくりのイメージが持てる。 ・ クラブのマネジメントについて、概要を認識する。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義:地域スポーツクラブに関する事業のミッションとビジョン及びマネジメント資格についての概要を確認(50分) 休憩 2) 講義:地域スポーツクラブの設立形態、運営形態及び地域スポーツクラブを取り巻く環境について確認(50分) 休憩 3) ワーク:講義やVTRを踏まえ、現時点で立ち上げたいと思っているクラブのミッション・ビジョンを作成する。 4) 発表:グループ内でそれぞれが発表し、他の人がコメント。クラブづくりにおいて必要となる要素(経営資源、マネジメント等)について認識する。(30分) 5) まとめ:クラブづくりが求められる背景、クラブづくりに必要な要素について確認する。(10分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業のミッションとビジョン(本講習会が目指すもの) ・ 地域スポーツクラブを取り巻く環境の変化 ・ スポーツ基本法とスポーツ基本計画 ・ 総合型地域スポーツクラブを取り巻く環境 ・ 総合型地域スポーツクラブ・マネジメントの仕組み
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業に関する資料(リーフレットなど) ・ PC、プロジェクター ・ VTR ・ ワークシート ・ 付箋

教育目標

<基礎 I> クラブマネジャーの役割 集合3h, 通信4. 5h 計7. 5h

講義のねらい (講義の目的)	本講義では、本事業が目指す理想的なマネジャー像から、クラブマネジャーが果たすべき仕事と役割について理解し、その求められる能力について認識させることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブマネジャーの果たすべき仕事と役割について理解できるようになる。 ・ クラブマネジャーに求められる能力について理解するのみならず、実践するための動機づけとなる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブマネジャーの果たすべき仕事と役割について理解させる ・ クラブマネジャーに求められる能力について理解させるだけでなく、実践するための動機づけとさせる。 ・ クラブマネジャーの役割および求められる能力について自己分析をもとに意見交換し、まとめさせる。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義:クラブマネジャーの果たすべき仕事と役割についての説明(40分) 休憩 2) 講義:クラブマネジャーの求められる能力について説明(40分) <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションスキル (ロジカルシンキング・コミュニケーション) 2. マーケティング 3. 経営戦略 (戦略的思考) 4. 人・組織のマネジメント能力 5. 運営能力 (ホスピタリティ、安全管理、施設管理) 6. 財務・会計能力 休憩 3) 講義:クラブマネジャーの役割および求められる能力について自己分析を行うワークの説明(10分) 4) ワーク:5つの能力を中心に個別に自己分析(強み・弱み)をシートに記入(20分) 5) 発表:グループ内でそれぞれが発表し、他の人がコメント。5つの能力別に共通課題を抽出し、その解決方法について意見交換(40分) 6) まとめ:クラブマネジャーの役割と求められる能力の共通課題およびその解決法について確認する。(10分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブマネジャー・アシスタントマネジャーとは ・ クラブマネジャー・アシスタントマネジャーの位置づけ ・ クラブマネジャーに求められる能力 <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキング・コミュニケーション 2. マーケティング 3. 経営戦略 4. 人・組織のマネジメント 5. 運営能力 (ホスピタリティ、安全管理、施設管理) 6. 財務・会計能力
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブマネジャーに関する資料 ・ PC、プロジェクター ・ 記入シート ・ 模造紙 ・ 付箋

教育目標

<基礎Ⅱ(ケーススタディ)> クラブのつくり方、クラブの運営

集合8h, 通信12h 計20h

講義のねらい (講義の目的)	本講義は、実際に地域スポーツクラブを立ち上げてきた具体的事例を通し、クラブの設立、運営、経営面など一連のクラブ育成のストーリーと実際の経営内容を学び、現実的な企画力や問題解決能力、及び当事者意識を高めることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none">・ 受講者は、本講義を受講することによって、地域クラブを設立、運営していくための具体的なイメージを持つことができる。・ より多くの具体事例により、クラブ運営の企画アイデアを考えるきっかけができる。・ いくつかの事例についてクラブの育成プロセスを知る。・ 事例の詳細から、クラブ運営上起こり得る重要な課題についてのアイデアや対応方法を考えることができる。・ クラブを設立、運営していくためのシナリオを描くことができる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	講義を担当する講師は、受講者に対し、地域クラブ運営の概要説明の羅列にとどまらず、自立するために必要な観点からクラブの運営内容についてより深く具体的に事例を発表する。また、成功例のみならず、できるだけ現実に起こっている問題に即して、自立できないでいるクラブの傾向を伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	1セッション(1ケース2時間)×4ケース ①【講師講義】クラブ運営のプロセスと実際の経営内容を具体的にパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションする。60分 ・(休憩10分) ②【質疑応答】受講者の疑問質問に回答する。(15分) ③【討論】受講者に、起こりうる問題のケーススタディを投げかけて討論する。(45分) ※②と③は一連の扱いも可。 ※プレゼンの講師は、可能な限り当該クラブ当事者を起用。
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none">・ クラブの創設・ 自主運営に必要な条件・ 顧客とスタッフの定義・ NPO法人格の取得手続・ 活動拠点の確保・ 財源の確保・ 事業計画書(ビジネスプラン)の作成について・ 事例クラブ紹介
その他 (講義に必要な教材や器材など)	プロジェクター パソコン レーザーポインター ホワイトボード 筆記用具 事例クラブの提供できる実際の財務資料など

教育目標

<コミュニケーションスキル> ロジカルシンキング(論理的思考法)

集合7h, 通信10h 計17h

講義のねらい (講義の目的)	組織のマネジメントをする上で不可欠なロジカルシンキング(物事を正確に把握し、構造的に捉え、論理的に考えること)が実際にできるようにすることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イシュー(問題点)、メインメッセージ(中心的なメッセージ)、キーラインメッセージ(メインメッセージを直接理由づけるメッセージ)、サポートメッセージ(キーラインメッセージの裏づけとなるメッセージ)を正確に把握することができるようになる ・ イシューに対する答えとなるメインメッセージを、キーラインメッセージ及びサポートメッセージから成るピラミッドストラクチャーを用いて作成することができるようになる
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワークを活用してロジカルシンキングの実際をわかりやすく伝える。 ・ マネジメントにおけるロジカルシンキングの重要性を伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:イシューの把握(個人作業とグループワーク) ・ 発表:グループによる発表 ・ 講義:イシューとは? <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:メインメッセージの把握(個人作業とグループワーク) ・ 発表:グループによる発表 ・ 講義:メインメッセージとは? <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:キーラインメッセージ及びサポートメッセージの把握(個人作業とグループワーク) ・ 発表:グループによる発表 ・ 講義:キーラインメッセージ及びサポートメッセージとは? <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:ピラミッドストラクチャーの作成(個人作業とグループワーク) ・ 発表:グループによる発表 ・ 講義:ピラミッドストラクチャー作成の留意点 ・ 講義:マネジメントにおけるロジカルシンキングの重要性
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントにおけるロジカルシンキングの重要性 ・ イシュー、メインメッセージ、キーラインメッセージ、サポートメッセージ ・ ピラミッドストラクチャー
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PC 用プロジェクター ・ ホワイトボード、マーカー、ボード消し ・ 付箋紙 ・ 模造紙、マジックペン ・ 書画カメラ

教育目標

<コミュニケーションスキル> コミュニケーション 集合7h, 通信10h 計17h

<p>講義のねらい (講義の目的)</p>	<p>本講義は、クラブが組織としての目的を達成するためには、クラブマネージャーは、漠然とではなく、何らかの目的をもって、意図的にコミュニケーションを図ることが必要であることを学ぶ。</p> <p>また、対内的(スタッフ・ボランティアなど)なコミュニケーション手法と、対外的(地域組織・行政など)なコミュニケーション手法があることを知り、双方の能力を高めることをねらいとする。</p>
<p>到達目標(受講者が得られる知識・技術・能力など)</p>	<p>受講生は、本講義を受講することによって、様々なコミュニケーション手法を知り、場面や目的ごとに、的確なコミュニケーション手法を用いることができるようになる。</p>
<p>講義のポイント (担当講師へのメッセージ)</p>	<p>講義を担当する講師は、受講者に対し、様々な場面で、的確なコミュニケーションを図ることの重要性を、極力、現場を想定して具体的に伝える</p>
<p>講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「対内的コミュニケーション」と「対外的コミュニケーション」についての概要説明(60分) ・実践 「対内的コミュニケーション」を図るグループでのロールプレイ(90分) (会議の場で) (事務局スタッフとの) (ボランティアスタッフとの) 3つのシチュエーションにおける問題を想定して、それを解決する 休憩 ・意見交換 グループ内での感想・意見コメント出し(30分) ・講義「対外的コミュニケーション」(クラブを認知させる・説得する等)を図るための様々な手法を学ぶ(60分) 休憩 ・実践 一定の条件のもと、(対行政) (対地域他組織) (対マスコミ) へのプレゼンテーションをグループで企画する (90分) 休憩 ・発表 &コメント (60分)
<p>具体的なテキストの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションは意図的に ・「対内的」コミュニケーション と「対外的コミュニケーション」 ・実際のケース と有効なツール
<p>その他 (講義に必要な教材や器材など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイに必要な備品 (ふせん ・ ホワイトボード など) ・パワーポイント ・ VTR

教育目標

<マーケティング> マーケティング、スポーツ・プロダクト

集合 7h, 通信 10.5h 計17.5h

<p>講義のねらい (講義の目的)</p>	<p>本講義は、総合型地域スポーツクラブにおいて、自立した経営に必要な収入を得るために、より効率的、より効果的なサービス、料金、広報宣伝を計画する際に必要となるマーケティングの手法やプロセスを習得するとともに、具体的なスポーツプロダクト(サービス)を検討することをねらいとする。</p>
<p>到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)</p>	<p>受講者は、本講義を受講することによって、クラブの周辺の市場動向や競合環境を把握し、クラブの会員や利用者の主たるターゲットやクラブの強み・弱みを分析する能力が身につく。また、それらの結果をもとに、クラブが提供するスポーツプロダクト(サービス)の適切な戦略や計画を検討することができるようになる。</p>
<p>講義のポイント (担当講師へのメッセージ)</p>	<p>講義を担当する講師は、受講者に対し、マーケティングの学問や一般論ではなく、実際の総合型地域スポーツクラブで使えるデータやリソースを前提条件とした実践的なマーケティングの方法について伝える。また、民間フィットネスクラブでもなく、公共スポーツ施設でもない、総合型地域スポーツクラブとして適切なサービスの内容の検討方法について伝える。</p>
<p>講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング及びスポーツプロダクト検討の目的、手順、方法について説明(90分) ・具体的な地域やデータを用いたマーケティング、スポーツプロダクトのケーススタディ(120分(ビデオ、DVDの映写時間を含む)) ・具体的な地域やデータを用いたマーケティング、スポーツプロダクトについてグループワーク(120分) ・代表者による発表(60分) ・まとめ(30分)
<p>具体的なテキストの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングとは ・総合型地域スポーツクラブを取り巻くマクロ市場動向 ・マーケットリサーチ(エリア調査、競合調査) ・市場分析・競合分析(3C分析、SWOT分析など) ・ターゲティング ・マーケティングミックス4P(プロダクト、プライス、プレイス、プロモーション) ・総合型地域スポーツクラブで想定されるスポーツプロダクトとは ・マーケティング結果をもとにしたスポーツプロダクト ・スポーツプロダクトの先進事例(民間スポーツクラブ、公共スポーツ施設、地域スポーツクラブ)
<p>その他 (講義に必要な教材や器材など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PC、プロジェクター ・スポーツプロダクトの先進事例のビデオ、DVD ・地図又はGISソフト ・グループワークのためのエリア市場データ、競合データ

(注)通信研修において、マーケティングの基礎や概論を学習した上で、集合研修に参加することを前提とする。

教育目標

<経営戦略> スポーツクラブ経営の戦略 集合7h, 通信 8h 計15h

講義のねらい (講義の目的)	本講義は、マーケティングによって得られた分析結果を踏まえて、クラブの事業を実際に展開する際の具体的な経営戦略の検討方法を習得することをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	受講者は、いくつかの選択肢の中から、最適だと考えられる方法を選定し、クラブの経営戦略を立案する能力が身につく。 受講者は、クラブのメンバーに経営戦略を説明することができるようになる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	講義を担当する講師は、受講者に対し、クラブにとって、ミッション及びビジョンが最も重要であり、メンバー間で共有しなければいけないことについて伝える。 講義を担当する講師は、受講者に対し、一般論としての経営戦略ではなく、総合型地域スポーツクラブの市場環境やリソースの現状を前提条件とした実践的な経営戦略の検討方法について伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の必要性や構成の説明(30分) ・経営戦略のケーススタディ(60分) ・経営戦略の具体的な検討の手順、方法について説明(120分) ・経営戦略の立案についてグループワーク(120分) ・代表者による発表(60分) ・まとめ(30分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略とは ・経営戦略の具体的事例 ・クラブの事業ドメイン(事業領域) ・クラブのビジネスモデル、コアコンピタンス(強み)、KFS(成功の鍵) ・クラブの事業展開における基本戦略(ドメイン)、事業戦略(競争優位性・差別化・ポジショニング、ポートフォリオなど)、機能戦略(価格、サービス、プロモーション など)
その他 (講義に必要な教材や器材など)	・PC、プロジェクター

(注)通信研修において、経営戦略の概論や一般企業の事例などについて学習した上で、集合研修に参加することを前提とする。

教育目標

<運営> 人・組織のマネジメント 集合4h, 通信4h 計8h

講義のねらい (講義の目的)	本講義は、総合型地域スポーツクラブの経営に必要となる人材、それら人材で構成する組織のあり方について理解させることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要となる人材(役割、能力)リストをつくることができるようになる。 ・職務分掌、権限を含めた簡単な組織図をつくることができるようになる。 ・採用、教育訓練、評価処遇、退職のプロセスが理解できるようになる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者に対して人材マネジメントの基礎基本についてわかりやすく伝える。 ・専従職員、アルバイト、ボランティアに分けて、それぞれの能力を引き出す組織のあり方を伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義: 総合型地域スポーツクラブに必要な職種、役割、人的機能について説明(20分) 2) ワーク: 自分のクラブに必要な職種についてリストアップする(10分) 3) 発表: グループ(5人 1組)内で、それぞれが発表し、他の人がコメント(25分) 4) まとめ: リスト漏れ、重複について講師が確認(5分) <li style="padding-left: 20px;">休憩 5) 講義: 職務分掌を踏まえた組織図のつくり方について説明(20分) 6) ワーク: 自分のクラブの組織図づくり(10分) 7) 発表: グループ内で、それぞれが発表し、他の人がコメント(25分) 8) まとめ: 悪い組織図などを提示し、講師が確認(5分) <li style="padding-left: 20px;">休憩 9) 採用、教育訓練、評価処遇、退職のしくみについて説明(20分) 10) ワーク: 俸給表、シフト、評価方法などを作成(10分) 11) 発表: グループ内で、それぞれが発表し、他の人がコメント(25分) 12) まとめ: 悪い評価方法などを提示し、講師が確認(5分) <li style="padding-left: 20px;">休憩 13) ボランティアマネジメントの基本的な考え方について説明(20分) 14) ワーク: ボランティアの動機づけについてグループ演習(10分) 15) まとめ: ボランティアへの悪い対応などを提示し、講師が確認(5分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織構造と組織デザイン ・人事システムの役割 ・採用・配置システム ・評価・報酬システム ・能力開発システム ・組織文化とクラブ経営
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター(講義用) ・書画カメラ(グループ発表用) ・付箋

教育目標

<運営> 施設の管理と運営 集合2h, 通信2h 計4h

講義のねらい (講義の目的)	総合型地域スポーツクラブの経営に必要なとなる、クラブハウス、グラウンド、体育館、テニスコートなどの管理運営の基礎的な知識を理解させる。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・自らのクラブハウスに必要な機能、諸室構成、コンセプトがわかる。 ・体育館、グラウンド、テニスコートなどの管理維持費を積算できる。 ・活動拠点の確保方策が分かる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を中心に紹介する。 ・クラブハウスや各種スポーツ施設の建設整備費単価、積算方式を具体的に示す。 ・クラブハウスや各種スポーツ施設の運営維持の単価、積算方式を具体的に示す。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義: 総合型地域スポーツクラブに必要な活動拠点について説明(10分) 2) 講義: クラブハウスの機能、諸室構成、コンセプトについて説明(15分) 3) ワーク: 自分のクラブハウスのイメージづくり(10分) 4) 発表: グループ内で、それぞれが発表し、他の人がコメント(25分) 5) まとめ: クラブハウスのポイントを提示し、講師が確認(5分) 休憩 6) クラブハウス、各種スポーツ施設の建設整備費について説明(15分) 7) ワーク: 施設建設整備費概算の作成(10分) 8) まとめ: 積算のポイントを講師が確認(5分) 休憩 9) クラブハウス、各種スポーツ施設の管理維持費について説明(10分) 10) ワーク: 施設の管理維持費概算の作成(10分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブとクラブハウス ・クラブハウスの整備計画ならびに管理維持 ・スポーツ施設(グラウンド、体育館、テニスコートなど)の建設整備ならびに管理維持 ・スポーツ施設整備ならびに管理維持に関する公的財源
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター(講義用) ・書画カメラ(グループ発表用) ・副読本「クラブハウスガイドブック」SSF笹川スポーツ財団

教育目標

<運営> スポーツクラブの安全管理 集合2h, 通信2h 計4h

講義のねらい (講義の目的)	総合型地域スポーツクラブで発生する多種多様な事故について理解し、それらのリスク軽減のための具体的な方策について学ぶ。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブで発生するケガや疾病の予防策を理解するとともに、傷害保険、損害賠償保険に加入できる。 ・スポーツクラブで発生する火災、建物損壊などの予防策を理解するとともに、火災保険、建物保険に加入できる。 ・上記の各種事故の対策マニュアルの目次を作成できるようにする。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクチェックシートを作成できるようにする。 ・演習形式でクラブのリスク一覧を作成し、その評価、対応策を具体的に検討させる。 ・マニュアルの項目を列挙できるようにさせる。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義: 総合型地域スポーツクラブにおけるリスクマネジメントの重要性 (5分) 2) 講義: クラブで発生するケガ、疾病などの事故事例ならびに判例を説明 (15分) 3) グループワーク: クラブで発生するケガ、疾病の状況リスト、原因をワークシートに記入 (20分) 4) まとめ: 各種保険について説明 (5分) <li style="padding-left: 20px;">休憩 5) 講義: スポーツクラブでの火災、建物損壊、盗難などの事故事例を説明 (10分) 6) 個人ワーク: 予防策について検討 (10分) 7) まとめ: 各種保険について説明 (5分) <li style="padding-left: 20px;">休憩 8) 講義: リスクマネジメントマニュアルについて説明 (10分) 9) グループワーク: リスク項目のリストアップとマニュアル目次構成の作成 (10分) 10) 発表: グループごとに目次構成を発表 (25分) 11) まとめ: 具体的なマニュアル作成方法について講師が確認 (5分)
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ中の事故事例、判例集 ・スポーツ施設に係る事故事例 ・リスクマネジメントとは ・各種保険一覧 ・リスクマネジメントマニュアルの作成手引き
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター(講義用) ・書画カメラ(グループ発表用) ・付箋

教育目標

<運営> ホスピタリティ 集合2h, 通信2h 計4h

講義のねらい (講義の目的)	クラブメンバーの獲得及び定着を図るには、メンバーとスタッフがFace-to-Face で接するポイントのマネジメントが不可欠である。ここでは、クラブのオペレーション(作戦、戦略)において、メンバーをおもてなしする(ホスピタリティ)ことの重要性を気づかせることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホスピタリティの重要性を認識することができる。 ・ ホスピタリティの基本的考え方を理解することができる。 ・ ホスピタリティ・マネジメントの基礎的知識を把握することができる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームやグループワークを活用してホスピタリティの考え方をわかりやすく伝える。 ・ 自己のホスピタリティの他者評価を体験することで第一印象の重要性を伝える。 ・ クラブにおけるホスピタリティ・マネジメントのあり方を伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:第一印象テスト(ペア) ・ 講義:ホスピタリティにおける第一印象の重要性について ・ 演習:ホスピタリティとは?(グループワーク) ・ 演習:実践的なロールプレイ ・ 発表:グループごとに発表 ・ 講義:ホスピタリティの考え方とクラブにおける重要性について <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義:ホスピタリティ・マネジメントの基本的考え方
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホスピタリティとは? ・ クラブにおけるホスピタリティの重要性 ・ ホスピタリティ・マネジメントの基本的考え方:サービス生産システム、権限委譲、インターナル・マーケティング
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PC 用プロジェクター ・ ホワイトボード、マーカー、ボード消し ・ 付箋紙 ・ 模造紙、マジックペン ・ 書画カメラ

教育目標

<財務> クラブ経営と財務・会計 集合7h, 通信7h 14h

講義のねらい (講義の目的)	クラブを継続して経営していくためには、お金に関するマネジメントは必須である。ここでは、クラブの会計及び事業収支の基本的構造を理解し、決算書を理解し、事業収支計画を作成できるようにすることをねらいとする。
到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計ソフトを用いた帳票入力ができるようになる。 ・ 会計ソフトを用いて決算書が作成できるようになる。 ・ 決算書の基本的ポイントが読めるようになる。 ・ 決算書に基づいて戦略が立てられるようになる。 ・ 事業収支計画が立てられるようになる。
講義のポイント (担当講師へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計ソフトを活用した演習により現場実務の実際について伝える。 ・ クラブの収支構造についてわかりやすく伝える ・ クラブの事業収支計画(概算)の実際について伝える。
講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:会計データの入力とチェック ・ 講義:経営状況(貸借対照表と損益計算書)と会計処理の解説 <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:損益分岐点分析 ・ 講義:損益分岐点分析の解説 <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習:事業収支計画 ・ 講義:事業収支計画作成の解説
具体的なテキストの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表:損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書 ・ 損益分岐点分析 ・ 事業収支計画:・事業収入・事業支出 ・ 会計ソフト実務
その他 (講義に必要な教材や器材など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PC 用プロジェクター ・ ホワイトボード、マーカー、ボード消し ・ 付箋紙 ・ 模造紙、マジックペン ・ 書画カメラ

教育目標

<評価> 事業計画書の作成 集合8h, 通信8h 計16h

<p>講義のねらい (講義の目的)</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの安定的かつ継続的な経営には、周到かつ緻密な計画が必要となる。また、計画は作成者のみならず、会員、スタッフも共有しなければその実現はありえない。さらには地元行政や関係団体、あるいは協賛者などにも計画に対する理解と協力を得ることも重要となる。このため、クラブの現在から将来にわたる計画を、「事業計画書」という所定の様式にまとめるための考え方や手法について理解させる。</p>
<p>到達目標 (受講者が得られる知識・技術・能力など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な総合型地域スポーツクラブの事業計画書(ビジネスプラン)を読んで概ね理解できる。 ・自分のクラブの事業計画書(ビジネスプラン)を、専門家らの協力を得ながら作成できる。 ・実際の事業評価にもとづき、事業計画書を、専門家らの協力を得ながら修正できる。
<p>講義のポイント (担当講師へのメッセージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な事業計画書を読んで、理解できるようにする。 ・事業計画書の作成意図を明確にし、意図を読み手に明確に伝えられるようにする。 ・所定のフォーマットにしたがって簡単な事業計画書を作成できるようにする。
<p>講義の進め方 (講義の実施方法について、できるだけ具体的に)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義: 事業計画書とは(60分) 2) 個人ワーク: ミッション、ビジョンの作成(30分) 休憩 3) 講義: 事業戦略、事業コンセプト(60分) 4) 個人ワーク: 事業戦略、事業コンセプトの作成(30分) 休憩 5) 講義: 事業コスト(30分) 6) グループワーク: 事業コストの積算(60分) 休憩 7) 講義: 事業収入(30分) 8) グループワーク: 事業収入の試算(60分) 休憩 9) 講義: 事業収支計画(30分) 10) グループワーク: 事業収支計画の作成(60分) 11) まとめ: 質疑応答(30分)
<p>具体的なテキストの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書とは ・事業計画書の構成 ・事業計画書の作り方 ・サンプルプラン
<p>その他 (講義に必要な教材や器材など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター(講義用) ・書画カメラ(グループ発表用) ・ワークシート ・パソコン ・付箋